

～自治体職員の皆様へ～

放射線に関する、こんなお困りごとありませんか？



福島県外に避難している住民から、帰還を検討するにあたり、住宅周辺の放射線量についての不安の声があがっている。

震災後採用の職員や応援職員を対象に、放射線や福島の現状について理解を深める機会を作りたい。



特定復興再生拠点の避難指示解除に伴い、HP や広報誌を通して情報を発信したいけれど、効果的な方法がわからない。

◆ 双葉町の放射線に関する取り組みについて ◆

～令和4年春ごろの特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除に向けて～

双葉町では職員の放射線に関する知識レベルの向上を目的として、平成31年度から放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター協力のもと、職員研修会を開催しています。平成31年度は放射線測定装置の実習を含め5回、令和2年度はコロナ禍の影響を受け1回、開催しました。令和2年度の研修会は、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、双葉町放射線検査等検証委員会の副委員長を務める河津賢治氏を講師に招き開催しました。福島第一原子力発電所の事故の概要、事故の影響と放射線による人体への影響や行動パターン別の個人線量計測定結果の説明等聞き、質疑応答を交えながら理解を深めました。

今年度も研修会等を通して職員の放射線に関する知識レベルの向上を図りながら、町民の皆さまの放射線に関する不安解消に繋がるように努めてまいります。



実習の様子（平成31年度）

講義の様子（令和2年度）



ご相談内容に応じた支援を行います。



環境省事業

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

☎0120-478-100（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）

- 電話 0246-35-5150 ●FAX 0246-35-5158 ●メール F-sodan@nsra.or.jp
- 住所 〒970-8026 福島県いわき市平字小太郎町1-6 いわきセンタービル5階、6階
- ホームページ <http://www.env.go.jp/chemi/rhm/shiencenter/>

ホームページQRコード



支援メニュー

相談対応支援

放射線に関する様々な相談に対して、科学的、技術的な視点からアドバイスを行います。

例えば・・・

- ・帰還先に長期放置されていた物の表面汚染の確認および処分方法
- ・自治体の食品検査体制や食品中の放射性物質基準値についての説明
- ・避難指示解除に向けた、他自治体の取り組みの事例について 等



専門家の派遣

放射線量の測定や、住民への説明会、自治体主催の会議等に専門家の派遣を行います。

例えば・・・

- ・公園や住宅等の放射線量測定に同行し、技術的な説明や質問対応
- ・住民からの放射線不安等に対応する際の回答・解説への助言
- ・帰還に向けた住民説明会での参加者への質問対応 等



研修会・セミナー・意見交換会

放射線に係る健康影響等の研修会、住民向けセミナー、車座意見交換会を開催します。

例えば・・・

- ・福島県内の現状等について理解を深めることを目的とした、施設見学型の意見交換会
- ・特定復興再生拠点の避難指示解除に向けた、自治体毎の課題や事例等の共有を目的とした、複数市町村の職員を対象とする意見交換会
- ・震災後採用職員及び応援職員を対象とした、放射線に関する研修会 等



実務に関する支援

放射線量の測定等を実務的にサポートします。

例えば・・・

- ・個人線量計の回収・整理の補助
- ・避難している住民が一時的に訪れる場所（墓地、公園等）の空間線量率測定 等



広報資料作成支援

放射線に関連する広報資料作成を支援します。

放射線相談員だより

～「道の駅なみえ」から「須戸川リバーライン」を歩いてみました～

須戸川	0.36 μ Sv/h
須戸川リバーライン (須戸川側)	0.32 μ Sv/h
須戸川リバーライン (河内側)	0.24 μ Sv/h
須戸川リバーライン (河内側)	0.43 μ Sv/h
須戸川リバーライン (河内側)	0.19 μ Sv/h
道の駅なみえ	0.14 μ Sv/h
道の駅なみえ	0.22 μ Sv/h
道の駅なみえ	0.07 μ Sv/h

【測定日(天候)】 2月9日(晴れ)
【測定時間】 10時12分～11時30分
【測定機器】 空間線量計 (NaIシンチレーション式)やサーベイメータ、積算線量計 (DOSE nano, Dシャトル)
【測定単位】 μ Sv/h [マイクロシーベルト/時] (概算値)
※「放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター」(環境省所管)の協力の下、測定しました。

健康保険課放射線対策係 ☎0240(34)0261

道の駅なみえの駐車場から須戸川リバーラインを、1時間30分ほどかけて歩いてみたところ、全体を通して、被ばく線量は0.34 μ Sv(マイクロシーベルト)でした。これは、「胸部のエックス線(レントゲン)撮影」1回当たりの被ばく線量(約90 μ Sv)の100分の1以下の値です。特段、健康に影響を与えるレベルの線量ではないと考えられます。

広報 **なみえ** No.663 編集・発行 福島県浪江町役場企画財政課 広報なみえ 2021.4.1 (28)